

ほぼたきHP版

大分大学教育学部

附属小学校

平成29年7月7日



7日、4～6年生対象に「世界の人たちと仲良くするために大切なこと」という演題で笈川幸司先生にお話をさせていただきました。笈川氏は北京大学や清華大学で日本語教師として教鞭をとり、中国で大人気の日本語カリスマ教師として活躍、日本語のスピーチコンテストの優勝者を百数十名輩出してきました。また、中国を拠点として日本語教育の推進を進め、ここまで27カ国を回っています。その功績が称えられて、平成28年度外務大臣賞を受賞しました。

講演は子どもたちと対話をしながら進んでいきましたが、自分が思っていた「世界の人と仲良くするために大切なこと」がいかにも言葉だけで浅いものだったかを感じ知らされました。日本にいて日本人と接しては気付かない、日本人の価値観の狭さ（決して悪いものではないのですが）にも。

講演が終わって笈川先生が「附属小学校の子どもたちの発言の仕方や内容が素晴らしいです。あんな子どもたちが育っているなんて日本の未来は明るい！」とおっしゃっていました。

